

原子力発電・核燃料サイクル技術等検討小委員会メンバー  
からの提出資料

2012.1.11

原子力資料情報室

伴英幸

核燃料サイクルに関して議論を進めていくための論点や必要とされる資料について、以下に項目を掲げます。

1. 高速増殖炉開発の議論に関して
  - (1) 政策選択肢は、①これまで通り開発を継続する、②開発を断念する、③②+研究は継続する
  - (2) 以下の視点から論点を整理することが必要  
①安全性、②技術的成立性、③社会的受容、④経済性、⑤放射性廃棄物、⑥核不拡散、⑦環境適合性、⑧資源問題、⑨政策変更に伴う課題
  - (3) これまでの行政監察局の報告書の整理
  - (4) これまでの事業仕訳の論点と結果の整理
  - (5) 高速炉と高速増殖炉の相似点と相違点の整理
2. 再処理に関して
  - (1) 前回の総合評価項目をベースにするが、全量再処理は成立する現実があるのか？
  - (2) 核不拡散の中に「テロ」への対応を含めて議論する
  - (3) 六ヶ所再処理工場を現時点で止めた場合の影響
    - ① 現在、どの発電所にどれだけの使用済み燃料があり、貯蔵能力(1炉心分除く)との差に関するデータが必要
    - ② 各サイトへ持ち帰る以外の選択肢はないのか
    - ③ 再処理を一定期間中断した場合の復興はどの程度難しいのか
  - (4) 六ヶ所再処理工場の試験運転～竣工へと続けた場合の影響
    - ① MOX加工工場の建設含めてコストへの影響について
    - ② MOX燃料のリサイクルについて
    - ③ 回収ウランの扱い(再濃縮の現実性)、再濃縮でも残る劣化ウランの扱い
3. 使用済み燃料の貯蔵に関して
  - (1) これまでの対応(リラッキングや乾式貯蔵など)の整理
  - (2) 貯蔵施設がつくられてこなかった理由あるいは困難さについて整理
4. 海外保有プルトニウムを使用するプルサーマルについて
  - (1) 保管費用は発生しているのか、だとすれば、どれくらいの費用を払っているのか
  - (2) 英仏の現状